

**インドネシアにおける社会的課題の抽出と対応策提案に関する  
産学連携グローバルワークショップ**

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年09月04日 ～2024年09月11日	インドネシア	スラバヤ工科大学	・環境システム学科 学部2～4年生	(芝浦工業大学) 学生28名(内、日本大学3名)、 学生バイト5名、 教員3名、 職員1名  (スラバヤ工科大学) 学生34名、 学生バイト4名、 教員6名、 職員2名	中村 仁 (環境システム学科)、 齋田 朋子 (環境システム学科)



ITSキャンパス内の事例視察

本PBLは、芝浦工業大学、日本大学、インドネシアのスラバヤ工科大学(ITS)、株式会社IHI、スラバヤの政府機関による産学官連携のプログラムです。日本側学生32名、ITS側学生34名の計66名の学生が12グループに分かれ、ITSキャンパス内におけるCO2モニタリングと交通対策、エネルギーモニタリングと省エネ対策、廃棄物管理、水質・雨水管理の4つのテーマに取り組みました。現地視察では、ITSキャンパス内の先進事例、現地企業・行政機関の先進的な取組や課題などを学びました。グループワークでは解決すべき課題を明確にして、その解決案を技術面、社会面から具体的に検討しました。各グループは、その成果を最終発表会で発表し、講評を受けました。

異なる背景をもつグループメンバーが、技術的に実現可能な提案なのか、社会的に意義がある提案なのかを話し合いながら革新的なアイデアを考えることで、持続可能な発展におけるグローバルな視点も養うことができました。



浄水施設の視察



工業団地の視察



グループワークの様子



最終発表会の様子